

輸送動向について（平成24年度第3－四半期）

平成25年1月

1. 輸送概況

第3－四半期は、11月下旬から12月にかけて北日本を中心に発生した自然災害に伴う輸送障害の影響等により、高速貨309本、専貨6本が運休した（前年同期間は、高速貨337本、専貨5本が運休）。

荷動きについては、中国等アジア諸国をはじめとする海外の景気減速を受けて、輸出産業を中心に企業の生産活動が縮小しているものの、前年は東日本大震災に伴う生産減があったことから、全体では前年を上回った。

コンテナ貨物は、農産品・青果物、化学薬品等が前年を下回ったものの、紙・パルプ、エコ関連物資等が前年を上回り、全体では前年比102.2%となった。農産品・青果物は米の販売不振の影響を受け出荷が低調となった。また、化学薬品は一部顧客の輸送中止等により大きく減送となった。一方、紙・パルプは震災で被災したメーカーの生産拠点の復旧及び取扱い貨物駅である石巻港駅の営業再開に伴い増送となった。また、エコ関連物資は災害廃棄物の広域処理の進展により増送となった。

車扱貨物は、セメント・石灰石が前年の台風12号に伴う線路不通の反動で増送となったものの、石油が一部区間の輸送終了に伴い前年を下回り、全体では前年比99.8%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、%）

種別	3－四半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	5,489	5,369	102.2%
車扱	2,729	2,734	99.8%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、%）

種別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	620	634	-14	97.8%
	化学工業品	501	500	1	100.2%
	化学薬品	368	380	-12	96.8%
	食料工業品	833	825	8	101.0%
	紙・パルプ	777	702	75	110.7%
	他工業品	426	422	4	100.9%
	積合せ貨物	570	575	-5	99.1%
	自動車部品	234	239	-5	97.9%
	家電・情報機器	129	116	13	111.2%
	エコ関連物資	125	90	35	138.9%
	その他	907	885	22	102.5%
	コンテナ計	5,489	5,369	120	102.2%
車扱	石油	1,892	1,994	-102	94.8%
	セメント・石灰石	355	262	93	135.6%
	車両	250	265	-15	94.5%
	その他	232	213	19	108.8%
	車扱計	2,729	2,734	-5	99.8%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）